

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	(水道)公共下水道関連事業			
予算科目	1 款 1 項 1 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課:	水道課	電話番号(内線):	713
記入者情報	所属長:	野島 康博	担当責任者:	堀内 英幸
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市民(上水道加入者)			
事業の必要性	公共下水道工事に伴い支障となる水道管の仮設および移設工事を行うことにより破損事故を防止し、水道利用者へ水の安定供給を図ることができる。			
施工方法、場所	【施工方法】	請負	【施工場所】	伊予市上水道給水区域(公共下水道認可区域)
運営方法	【運営方法】		【運営費(予定)】	
事業の目的	安全で安心な水を需要者に供給する。			
事業の内容	公共下水道工事に伴い支障となる水道管の仮設および移設工事を行う。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	下水道工事担当者と発注時期等について連絡を密にした。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目	25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算	
事業費	直接事業費	20,303	44,150	11,390	23,115
	人件費	5,287	5,170	1,908	2,704
	合計	0	49,320	13,298	25,819
人件費 内訳	人工数	0.65	0.65	0.24	0.34
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	5,287	5,170	1,908	2,704
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	8,884	41,350	0	9,829
	一般財源	16,706	7,970	13,298	15,990

実施スケジュール							
項目	25年度以前	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度以降
布設替工事	38,700	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
年度別事業費	38,700	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
財源	国・県支出金						
	地方債						
	その他	34,400	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	一般財源	4,300	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
国・県支出金等名称							0

成果指標				
成果指標	実績数値のみを記載する。			
指標設定の考え方	公共下水道布設工事に伴い発生する配水管布設替工事であり、成果指標設定は困難である。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	0	-	-	0
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	公共下水道布設工事に伴い発生する配水管布設替工事であるため、下水道工事の発注時期と整合する必要がある。しかし、下水道工事に変更が生じた場合、見直しが必要となるため、即時対応にやや困難な面がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	公共下水道布設工事の施工に伴い発生する必要不可欠な事業であるため、関係部署等と連携を取りながら事業を推進する必要がある。また、今後は老朽管の更新や耐震化事業及び道路改良事業と連携し、公共下水道事業の進捗を十分把握して、効率的に事業を施工する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題